

第59回高齢者排泄ケア講習会

日 時：2019年6月8日（土）14：50～17：00

場 所：アクロス福岡 7階 大会議室

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1 ※次頁の地図をご覧ください

参加費：1,000円 募集定員：130名 Field※：A(排尿管理)、D(その他)

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツは
ずし・認知症・介護・保険 他）
詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：高齢者医療の2大問題 ―認知症・ポリファーマシーについて―

● 製品紹介「過活動膀胱治療薬ステープラOD 0.1mg」 小野薬品工業株式会社

開会の挨拶：山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：服部文忠 先生（特定医療法人順和 長尾病院 理事長）

講演：『 高齢者における薬物療法の注意点 』

講師：兼重 晋 先生（福岡大学病院 薬剤部 副薬剤部長）

～講師からのコメント～

高齢者では、加齢に伴う生理機能の低下が生じるため、患者個々の状態に応じた薬物投与量を設定する必要があります。また、認知機能の低下や多剤服用による有害事象（副作用）の発生により服薬アドヒアランスが低下し、薬物療法に影響をきたします。本講演では「排尿・排泄に関わる高齢者の薬物療法の注意点」について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

講演：『 認知症と排尿障害 』

講師：藤木富士夫 先生（原三信病院 脳神経内科 部長）

～講師からのコメント～

高齢者は、尿失禁、頻尿、排尿困難などの排尿トラブルを抱える事が多く、生活の質が度々損なわれている現状がある。こうした排尿トラブルの背景には、膀胱炎や前立腺肥大のような泌尿器科系疾患のみならず、脳脊髄～末梢神経にいたる神経疾患が潜んでいる。こうした神経因性膀胱による排尿障害の中でも、認知症に起因した排尿トラブルへの理解は重要である。治らない、治せない疾患であるが故の覚悟と付き合い方など、本人および介護者にとって安住となる方向はないのかなど私見を踏まえ考察したい。

閉会の挨拶：今丸満美 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、小野薬品工業株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9：00～17：00 土・日・祝日 休）
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL：092-282-5910 FAX：092-282-5812
メールアドレス：info@fukuokahaisetsu-net.org

会場までのアクセス



- 福岡空港から天神まで地下鉄空港線で11分
- JR博多駅から天神まで地下鉄空港線で5分
- 西鉄福岡天神駅から徒歩10分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩3分(16番出口)
- 地下鉄七隈線天神南駅5番出口から徒歩3分
- バス停から徒歩
 - 市役所北口から0分
 - 天神4丁目から3分
 - 中央郵便局前から5分

※地下鉄空港線天神駅16番出口から、
アクロス福岡地下2階へ直接入館できます。
※地下に有料駐車場(約100台)があります。
利用時間/7:00~22:30 入口は市役所側です

